次期大府市バイオマス産業都市構想(案)に対する意見の概要と市の考え方

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ページ | 意見の要旨 | 市の考え方 |
| - | バイオマス発電について市民への周知をもっとする必要があります。 | 自治区が行うリサイクル研修をはじめ、施設への見学の受け入れを継続して実施しております。ウェブサイト、広報紙、資源・ごみ分別アプリ、イベントでの啓発など、あらゆる機会を捉えて、取組の啓発に努めてまいります。 |
| 9 | 家庭系生ごみの収集地区を拡大してください。 | 収集にかかるコスト以外にも収集に携わる人員の確保も課題となっています。これらの課題を整理、検討した上で、利用率の目標値を設定しております。 |
| - | メタン発酵肥料（ヨコネバイオ　生第105906号）の成分の品質保持のため安全性を厳しくチェックしてください。 | ヨコネバイオは、肥料の品質確保等に関する法律に基づき、農林水産大臣の登録を受けた肥料です、実施主体の事業者により四半期ごとに成分検査を、年１回有害成分の検査を実施し、その結果について報告を受けています。  農林水産省は、汚泥肥料等中の有害重金属の基準を設定し、これを超える濃度の有害重金属を含む製品の生産・販売を規制するとともに、肥料の製造者がこれらの基準に従って適切に管理することを義務付けています。これらにより安全性は担保されていると考えており、引き続き報告を注視してまいります。 |
| - | 遠方の他市町から生ごみが運ばれてきますが、ガソリンなどエネルギーの無駄使いに感じます。 | 本構想において、事業主体が経済性を確保した上で運営することが、持続可能な取組になると考えており、施設を安定的に運営するのに必要なバイオマス原料を市内外から搬入する計画としております。  また、メタン発酵処理を焼却処理と比較した場合、二酸化炭素排出量の削減効果やクリーンエネルギーの創出など、環境面でのメリットが大きいと考えております。 |